

Q1 「きぼっこキャンプは、どんなキャンプですか？」

きぼっこキャンプは、1972年から始まり、今回で51回を迎えます。

(新型コロナの影響で2年間休止しました)

主に手足に障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが、親元を離れ、子どもたちが話し合いで決めたプログラムにより、夏3泊4日、冬1泊2日、共同生活を過ごします。

今年のキャンプは、宮城県七ツ森希望の家(黒川郡大和町)及び大和町嘉太神校舎、県障害者福祉センター等での宿泊・活動を予定しています。



Q2 キャンプ中、子どもたちは何をするの？

食事や入浴等の生活時間以外は、子どもたちのグループの話し合いによって自由に活動を組み立てます。グループ活動を通してお互いを認め合い、理解しあうことを大切にしています。



Q3 ボランティアは何をするの？

子どもたちと一緒にグループ活動を組み立て、キャンプを創ってゆきます。必要に応じて、様々な介助、見守りを必要とする子どもたちの支援もおこないます。



Q4 「ボランティアは初めて。大丈夫ですか？」

大丈夫です。キャンプ当日までに、トレーニング(8回)を受けてキャンプへの理解を深め、準備していくので、福祉あるいは教育等を学んでいなくても問題ありません。

今までもボランティア未経験の方々がキャンプを支えてきています。

* ボランティア保険加入費、キャンプに掛かる宿泊費、食事代は主催者が負担します。トレーニング会場(宮城県障害者福祉センター:宮城野区幸町)までの交通費は各自負担となります。



Q5 「きぼっこキャンプのボランティアをやろうか迷っているのですが？」

参加に興味関心がある方は、ご連絡ください。

☎ 022-293-2902

* e-mail kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp

